

見えにくさについての相談をお受けしています。

たんぽぽ教室

0～6 歳までの子どもさんとその保護者の方
幼稚園・保育園・こども園などの在籍園
相談支援員の方、療育など支援関係の方に

本校において
いただいたの
個別相談

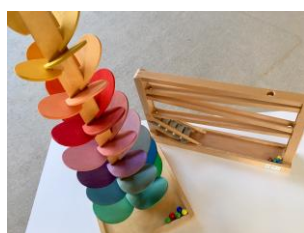
在籍園などへ
の訪問支援
(エキスパート派遣事業)

保護者の方の
集まりの場

0 歳から小学校入学前の時期、とても大切です！

生まれたばかりの赤ちゃんは、明暗がぼんやりわかるくらいの見え方ですが、あやしてくれる人を見たり、おもちゃを追ったりしながら徐々に視力が伸び、小学校入学くらいでまでには大人と同じくらい見えるようになります。子どもさんの目の発達は、8歳ごろまでが最も重要な時期といえます。しかし、この時期に見ることに支障があると、見る力は順調に育つことができません。目のことやものを見る様子などで気になることがあれば、すぐに眼科に相談されることが大切です。

眼科での治療のほかに、しっかりと見る遊びを取り入れたり、見えやすい環境整備をしたりすることも、目の発達を促すのに有効です。就学に向けては、子どもさんに合った視覚補助具も用意し、活用の仕方をマスターして、学校生活が順調にスタートできるよう備えていきたいですね。見えにくさがある場合でも、食事や着替え、移動や遊びなど、聞くことや触ることなど五感を生かした方法でその子どもさんに合った身辺自立の方法を身に付けていくことができます。



音、振動、手ざわり、色、光、動きなど、いろいろな感覚アプローチで遊びながら力を伸ばしていくことのできるおもちゃや遊具もご紹介できます。



たんぽぽ 教室では、

- ♥見えにくさに応じて、見えやすい、活動しやすい環境を整備するお手伝いをします。
- ♥在籍園を訪問して、園生活での配慮や工夫、見え方に合った支援を一緒に考えさせていただきます。
- ♥就学に向けて、見えにくさに応じた環境整備や配慮を就学先にも適切に伝え、準備していただけるようお手伝いします。
- ♥近くを見るための拡大鏡(ルーペ)や、遠くを見るための単眼鏡など視覚補助具を紹介し、活用スキルを習得できるよう練習を行います。



単眼鏡の
活用練習



拡大鏡
(ルーペ)
の活用練習